熊本県歯科医師会
Kumamoto Dental Association

～健康長寿は歯から～
～健口から健幸へ～

熊歯会報

No.812
February 2024
2

CONTENTS

- 巻頭言（常務理事　宇治 信博）……3
- 理事会報告……4
- 委員会報告（厚生・医療管理、地域包括ケア、社保）……6
- 学院だより……11
- 郡市会報告（熊本市、玉名郡市、山鹿市）……12
- お知らせ……14
- リレー投稿㊻……15
- 新入会員……16
- 会務報告……17

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

梅の名所、谷尾崎梅林公園に立ち寄った際の写真です。園内には宮本武蔵が坐禅したと伝わる２畳ほどの巨石があり、そこから公園を一望でき数十種の梅の木が楽しめます。満開時には甘い薫りが一面に漂います。

加藤清正が戦のために梅の木（軍用梅）を植えたという説もある様です。花々から季節を感じ、平穏に生活できる有難さを特に強く感じる今年です。能登地方の一早い復興を祈ります。　（A・K）

災害歯科支援体制について

常務理事　宇治 信博

会員の皆様におかれましては、平素より本会の事業にご協力いただきまして誠にありがとうございます。伊藤執行部３期目も常務理事（会計・総務・KDMU・収益事業・DX担当）を拝命いたしました。会員、県民の皆様のためにより一層精進していく所存です。

さて、皆様もご存知のように元日に令和６年能登半島地震が発生し、石川県、新潟県、富山県、福井県が被災し、特に石川県では233人（災害関連死15人含む）の死亡が確認されています。（１月22日現在、安否不明22人）また、羽田空港で起きた日本航空旅客機と海上保安庁の航空機との衝突事故では海上保安庁職員の方が亡くなられました。今回の災害、事故で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともにそのご家族や被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。支援物資を運ぶ上での事故ということで、災害がなければこの事故も起きなかったと思うとなんとも言えない気持ちになります。本県におきましては、熊本地震の経験や反省をもとにいつ起こるかわからない災害のために、令和元年度より災害歯科保健医療研修強化事業を保健所管轄ごとに行っております。また日歯ではJDAT（日本災害歯科支援チーム）の体制整備が進められております。

【目的・趣旨】

JDAT（Japan Dental Alliance Team：日本災害歯科支援チーム）は、災害発生後おおむね72時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的としている。

歯科保健医療を担う支援チームという位置づけで、それに向けて平常時には研修を行って体制を整備することが求められています。災害関連死を減らす意味でも災害時歯科的なニーズを早期に把握できるのは歯科保健医療専門職だけだと思います。適切な支援を行うためにも定期的な研修が重要です。本会では２月10日（土）に熊本地震の際に日本歯科医師会災害歯科コーディネーターを務められた中久木康一先生をお招きし歯科医療従事者・関係機関・団体、行政職員等を対象に対面で研修を行います。災害は避けることができませんが、その後の対応次第で救える命があります。日本航空の対応のように衝突事故が起きたものの死者を一人も出さずに済んだのは、日頃の訓練の成果と思われます。歯科医師会として適切な対応ができるよう今後も災害の研修に取り組み、一人でも多くの方に災害歯科保健医療研修会へご参加いただき、災害歯科支援体制の整備を進めていきたいと考えておりますので引き続きご協力の程よろしくお願いいたします。

理事会報告

一流を目指して事業の展開を

― 第８回理事会 ―

12月26日（火）午後７時より県歯会館において伊藤会長他全役員、増田・水上監事、東学院長出席のもと開催された。

１　開会：大林副会長

２　挨拶：伊藤会長

今年最後の理事会となりました。１年間様々な事業を展開して頂き感謝申し上げます。診療報酬改定において＋0.88％、歯科は＋0.57％の改定となりました。物足りない感はありますが、前回以上の改定があり、歯科界が頑張って協力していることが伝わっているのではないでしょうか。

一流の人間は始末が出来ます。自分で分析しながら出来ない事を考え立て直す。何が問題なのか考える事も始末の一つです。役員として一つひとつの事業を始末するため、点検・整理整頓をしていきながら来年も皆さんと共に一流を目指し事業を展開していきたいと思います。よろしくお願いします。

３　議長選出：伊藤会長

４　議事録署名人：増田・水上監事、伊藤会長

５　会務報告：

（自：11月24日～至：12月21日）

本会総務：県知事表敬訪問、理事会、常務理事会

学　　術：歯周病対策プロジェクトセミナー会員発表、学術委員会

社会保険：社会保険委員会（Web）

地域保健学校歯科：地域保健学校歯科委員会（Web）

地域包括ケア：在宅歯科医療連携各郡市意見交換会（Web）

広　　報：「熊歯会報」１月号の校正、「Beauty × Teeth コンテスト」表彰式

医療対策：医療相談・苦情事例報告

厚生・医療管理：くまもとお仕事探検フェア2023

センター：センター定例ミーティング

学　　院：学院役職員会、学院運営審議会、第３回教務委員会

国保組合：全協九州支部事務研修会

以上、各担当役員より報告がなされた。

６　報告事項

１．退会会員について

- 故　徳永 俊英 会員（終身会員／熊本市／徳永歯科医院）73歳　令和５年11月23日　ご逝去
- 故　工藤 紘喜 会員（終身会員／玉名郡市／閉院）80歳　令和５年12月10日　ご逝去
- 長 茉利奈 会員（第３種／熊本市／翼ハロー歯科・内科診療所）令和５年10月31日付　第１種入会のため
- 蓮台寺クリニック（第４種／熊本市）令和５年11月28日付 歯科廃止のため

２．事業実施報告書について

- くまもとお仕事探検フェア2023

３．11月末会計現況について

７　連絡事項

１．１月行事予定について

８　承認事項

１．新入会員の承認について

第１種

氏　名	医療機関名	住　所	出身大学
長（ちょう） 茉莉菜（まりな）	くすのきハロー歯科医院	熊本市北区楠6-1-37	福岡歯科大学

第２種

氏　名	医療機関名	住　所	出身大学
中村（なかむら）　万智（まち）	中村歯科医院	菊池市旭志小原305-3	福岡歯科大学

令和５年度入会状況（12月末）第１種／15名　第２種／３名　第３種／７名【承認】第１種会員１名、第２種会員１名の入会を承認した。

２．令和６年度県歯終身会員、代議員会表彰者リスト等について【承認】終身会員、代議員表彰者を承認した。

３．関係機関・団体から役員等の推薦依頼について

- 熊本県社会福祉審議会委員／熊本県健康福祉政策課【承認】推薦：椿誠副会長

４．後援・共催依頼について

①回復期リハビリテーション病棟協会第43回研究大会in熊本

②第75回全国人権・同和教育研究大会（兼 第50回九州地区人権・同和教育夏期講座、第52回熊本県人権教育研究大会、第49回鹿児島県人権・同和教育研究大会）／熊本県人権教育研究協議会

③2023年度熊本県産前・産後母子支援事業報告会・講演会／社会医療法人愛育会 福田病院

④第９回熊本県歯科口腔外科研修会／第一三共株式会社

⑤第25回九州歯科医療管理学会／第25回九州歯科医療管理学会【承認】①～⑤の後援・共催依頼を承認した。

９　議題

１．令和５年度第２回各郡市歯科医師会会長・専務理事連絡会議次第について【承認】各郡市歯科医師会会長・専務理事連絡会議の次第を承認した。

２．日赤健康管理センターにおける新歯周病リスク検査への協力について【承認】新歯周病リスク検査への協力を承認した。

３．各郡市における学校歯科校医担当者の情報提供依頼について【承認】各郡市に情報提供の協力を依頼することを承認した。

４．令和６年度後期高齢者口腔健康診査について【承認】後期高齢広域連合と協議することを承認した。

５．令和６年度総務事業計画（案）について【承認】総務事業計画（案）の代議員会への上程を承認した。

６．令和６年度各委員会事業計画（案）について【承認】各委員会事業計画（案）の代議員会への上程を承認した。

７．令和６年度各委員会予算（案）について【承認】各委員会予算（案）の代議員会への上程を承認した。

８．令和５年度第２回臨時代議員会日程（案）について【承認】臨時代議員会日程（案）を承認した。

９．令和６年度事業計画（案）について【承認】事業計画（案）の代議員会への上程を承認した。

10．令和６年度会費及び負担金の賦課額・賦課率並びに徴収方法（案）について【承認】会費及び負担金の賦課額・賦課率並びに徴収方法（案）の代議員会への上程を承認した。

11．電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について【承認】規程（案）を承認した。

12．ケイ・デー・エム・ユー業務委託料について【承認】業務委託及び委託料を承認した。

10　監事講評

増田監事：「今年１年間役職員の皆様大変お疲れ様でした。令和６年度の事業計画・事業予算(案)が協議されました。前年度の内容を全て引継ぐだけではなく、新しい事業を委員会でも検討して下さい。来年もPassion & Performance情熱を持って会務を遂行して欲しい。」

水上監事：「今年１年お疲れ様でした。県歯の執行部では“くま歯キャラバン隊”を各郡市へ派遣していますが、各郡市の会員へ見える化することはとても大切です。過去には歯科医師年金基金を厚生委員会で各郡市に広めた経緯もありました。良い事はどんどん広めて下さい。」

11　閉会：永松副会長

（広報　神﨑 理子）

委員会報告

インボイス・電子帳簿保存法への対応について協議

― 令和５年度　熊本国税局管内税務指導者協議会 ―

厚生・医療管理

令和５年11月22日午後２時より県歯会館において標記会議が、熊本県歯会の主幹にてオンラインにて開催された。会議は２部制で行われ、第１部で熊本・大分・宮崎・鹿児島各県による協議、第２部で熊本国税局担当者を交えての協議であった。

第１部は、永松副会長の開会の辞、伊藤会長の挨拶で始まった。

日歯の中村税務・青色申告委員会委員長の報告後、以下の協議、各県より日歯への要望が示された。

協議題

１）インボイス制度導入前後のトラブルについて

２）インボイス制度、電子帳簿保存法への対応について

３）新型コロナウイルス感染症が５類に移行したことに関連する、税制上の注意点・情報等について

日歯への要望

１）金属の回収時、売買時の税務上の取り扱いについて

２）歯科医院におけるインボイス制度のメリット・デメリットについて

引きつづき、日歯の中村税務・青色申告委員会委員長より「消費税のインボイス制度と電子帳簿保存法」日本歯科医師会嘱託税理士丸山定夫先生より「令和５年度税務情報及び歯科クリニックの経営改善のポイント」の演題にて講演があった。

会議はオンラインにて２部制で行われた

第２部では、国税局へ各県からの協議題について説明があった。

１）最近の税務調査について

２）電子帳簿保存法について

３）歯科医院の税の取り扱いに関する注意点について

４）医療法人と個人の税務上の違いについて

５）税金のクレジットカード払いについて

まとめとして、

１．インボイス制度に関しては、一般的な歯科診療所への影響は少ないと考えられる。

２．金属回収の申告は、売買時に行う必要があり申告もれがないよう注意が必要である。

３．電子帳簿保存法は、2024年１月１日から完全義務化となる。

最後は、工藤理事の閉会の辞にて協議会は終了した。

（宮本 徳郎）

委員会報告

要介護者の口腔ケアの重要性

― 令和５年度 第１回介護者歯科実習研修会 ―

地域包括ケア

令和５年11月23日（祝）15時30分より標記研修会が県歯会館４階ホールにて開催された。伊藤会長の開会挨拶の後、「なぜ口をキレイにするの」という演題にてヒューマンデンタルクリニックの飯田良平先生の講演が始まった。

飯田先生に口腔ケアについて詳しく講演頂いた

１．災害時口腔保健医療について

災害時には生活環境が乱れることにより、特に小児においてう蝕の増加、歯肉炎の憎悪等が認められる。また、高齢者の誤嚥性肺炎が増加することが分かってきた。東日本大震災のデータでは避難所と比較して介護施設では医療支援が手薄になりがちであり、介護施設からの入院症例では45％が死亡ということが分かった。災害時の問題は日常生活の延長であり、平時から子供の生活リズムと口腔衛生の管理と誤嚥性肺炎による死亡を防ぐことに尽力することを意識することが大切である。

２．口腔細菌が歯科疾患・全身へ及ぼす影響について

歯周病による歯牙の喪失が、咬合力の低下を引き起こし認知機能の低下に影響を及ぼすと考えられる。歯周病菌は血管から全身に飛ぶことで、脳梗塞や心筋梗塞等の様々な全身疾患に影響する。急性肺炎を起こした高齢者の71％が誤嚥しており、健常者でも10％が誤嚥していることから、常に誤嚥しているものと考えることが必要である。高齢者では口腔内細菌を誤嚥することで誤嚥性肺炎を引き起こす可能性が高くなると考えられる。

３．要介護者の口腔ケアの仕方について

清掃する前のチェック事項として①誰がどのように口腔ケアを行っているか②清掃道具の確認③あいさつすることで体調の確認をする④姿勢の保持を確認し麻痺がある場合は側臥位で健側を下にする⑤アプローチは体の中心から遠いところから始める、以上を確認することが大事である。次に清掃の手順として口唇→歯→歯肉→頬粘膜→口蓋→舌→口腔底→含嗽→消毒→軟膏・保湿剤の塗布の順で行う。口腔カンジダ症の患者にはステロイド軟膏の塗布により憎悪を引き起こすので注意が必要である。

剥離上皮・上皮膜の除去は必要であるが、除去時には出血に気を付ける必要がある。また嘔吐反射、迷走神経反射に注意し行う。

次に剥離上皮の除去について２人１組で相互実習を行った後、長野常務理事の謝辞、挨拶にて閉会となった。

口腔ケアが誤嚥性肺炎や様々な疾患に密接に関連していることは歯科医療者には周知のことになりつつあるが、口腔ケアとはcureだけでなく生活リズムの維持や尊厳ある口での旅立ち等のcareにも関わる人間の生活にとって非常に大切であり、必要なものであることを改めて考えさせられる研修会であった。

（高尾 真暢）

委員会報告

令和５年度　在宅歯科医療連携室機能強化事業

―熊本県歯科医師会・熊本県介護支援専門員協会合同企画研修会 ―

地域包括ケア

令和５年12月９日（土）15時より標記研修会が、県歯会館４階で開催された。参加人数は、歯科医師11人、歯科衛生士11人、介護支援専門員（以下、ケアマネジャー）29人、その他３人（看護師、社会福祉士、医療事務）の計54人で、多職種が参加する研修会になった。合同研修会は今回で３回目である。

冒頭の挨拶で、永松副会長は「One For All. All For One.」という言葉は「１人はみんなの為に、みんなは一つの目的の為に」というのが本来の意味であり、地域包括ケアシステムも同様であると述べた。

演題は「はじめましょう！多職種連携　はじめの一歩　～在宅医療・介護連携　介護支援専門員の役割～」、一般社団法人熊本県介護支援専門員協会会長　権藤重賢先生に講演いただいた。

①介護支援専門員の概要と役割

介護報酬における口腔衛生関連サービスとして居宅療養管理指導がある。居宅療養管理指導の請求事業所数は年々増加しており、令和４年度で約45,000事業所、利用者数は、1300万人にのぼっている。ケアマネジャーがケアプランに反映する上で歯科医師に期待した事項は、「摂食・嚥下の指導」「口腔機能の指導」と続き、歯科衛生士に期待した事項は、「口腔衛生に関わる指導」「摂食・嚥下に関わるもの」であった。

②地域包括ケアシステム構築のための多職種連携

ケアマネジャーが利用者の口腔情報を取得できていないという調査データもあり、口腔内の問題に対しいかに歯科医療者へ繋いでいくかが今後の課題である。データ分析を活用したリハビリテーション、栄養、口腔の効率的・相乗効果的な管理も必要である。

権藤先生に多職種連携の重要性について講演頂いた

質疑応答では、訪問歯科診療依頼があった場合に、歯科医院とケアマネジャー間の繋ぎ方の質問があり、歯科医院側は患者やご家族に担当事業所を確認し、ケアマネジャーはかかりつけ歯科や県歯の在宅歯科医療連携室に問い合わせるのが良いという回答であった。

講演の後２例のグループワークを行った。前半は、架空の事例にて、相互の立場で問題点を抽出し、利用者のケアプランを模擬作成し意見交換を行った。後半は、私たちが連携していく為に、どのような課題があり、どう解決していくべきかについて意見を交換した。

最後に、長野常務理事が謝辞を述べ、研修会は盛会の内に終了した。普段積極的な交流のない歯科医療者とケアマネジャーが、日頃抱えている悩みや疑問点を直接意見交換でき非常に良い機会となった。まだまだ地域包括ケアシステム構築の課題はあるが、その一歩として有意義な研修会であった。

（匠原 健）

委員会報告

2日間にわたり開催

― 在宅歯科医療連携研修会 ―

地域包括ケア

令和５年12月16日（土）17日（日）、県歯会館にて日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック院長の菊谷武先生と講師の戸原雄先生による在宅歯科医療研修会が行われた。今回の研修はかかりつけ機能強化型歯科診療所の施設基準の算定要件の一つを満たす研修となっており、参加者は他職種も含め16日が対面29人Web参加49人、17日が対面のみで35人となった。

第１日目は地域包括ケア委員会園田副委員長進行のもと、牛島専務理事より現在ニーズに合わせた体制作りを目指しており、今回の研修もぜひそのことに役立てたいとの挨拶の後、菊谷先生の「なにを診て、何をするのか？～在宅患者の特性に応じた治療方針の立て方実際～」という講演が始まった。

まず多摩クリニックの活動の紹介ののち、訪問診療の実際のニーズと診療報酬上の規定など在宅歯科医療の問題点や外来診療との質の違いなどについて述べられた。そして歯科医師は患者が外来受診できるうちに在宅診療になっても管理しやすい口腔内環境に変えていく必要があり、フレイルやオーラルフレイルなどを診断基準にして早めに対応する重要性を話された。特に8020達成者は誤嚥性肺炎の高リスク者でもあり、ADLが上がらなくてもQOLを上げていけることの大切さを話された。

講演後の質疑応答に続き、同クリニックの戸原先生が「ミールラウンド」について講演された。

施設の利用者が食事の際に何をどのように食べているのか、食事場面を観察して判断することをミールラウンドといい、その進め方やケアプランの作成について話された。食事場面を観察する際に特殊な医療機器を使用せず、咀嚼を評価する方法など説明され、施設でよく見られる咀嚼嚥下の様子とその対応の仕方なども紹介された。実際の症例も交じえ、他職種との連携や歯科医師の役割、またご家族との関わり方などを説明されたあと、食べること、食べさせることの重要性を話され、Web参加者も含めた質疑応答ののち、第１日目の講演は終了となった。

人形を使用して鼻腔吸引の実習を行った

第２日目は参加者を６グループに分けての研修となりました。はじめに症例を通して、多職種で意見を交わし治療計画を立てていくグループワークが行われ、それぞれグループ内で意見を出し、グループごとにまとめた内容や治療計画を積極的に発表し合った。

その後は吸引についての講義が行われ、戸原先生より、吸引についての必要性、また実際吸引する際に必要な物や方法などの説明があり、グループごとに人形を使用して鼻腔吸引の実習を行った。

活発な質疑応答、長野常務理事の閉会の挨拶後、２日間に渡る有意義な在宅歯科医療研修は終了となった。

（川野　智美）

委員会報告

～令和６年度診療報酬改定に向けて協議～

― 令和５年度九州各県社保担当者会 ―

社保

令和５年10月14日（土）午後２時より、長崎県歯会館にて、令和５年度九州各県歯科医師会社保担当者会が開催された。県歯からは、椿副会長、舩津理事、野田理事、桐野委員長の４人で出席した。会議は、渋谷長崎県歯会長、大杉日歯常務理事の挨拶、出席者紹介に続き、東長崎県歯理事を座長、辛島大分県歯理事を副座長に選出し、会議を進行した。大杉日歯常務理事の日歯報告では、大まかに以下の説明があった。次期医療保険制度改革の主な検討事項、全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律、第４期医療適正化計画（2024～2029年度）に向けた見直し、地域完結型の医療・介護供給体制の構築、歯科用麻酔薬剤の薬価乖離率是正に関する要望書、令和４年度概算医療費年度集計結果、令和６年度概算要求（歯科保健医療施策の概要）、令和６年度の同時報酬改定に向けた意見交換と歯科関係意見、日歯の令和６年度診療改定基本方針と対応（物価高騰・人件費関係、在宅医療、歯科医療）、骨太の方針2023に対する日歯の改定基本方針、中医協における議論、新規歯科医療技術の保険収載、かかりつけ歯科医による予防と治療が一体となった継続管理、歯科用貴金属に係る問題、指導・監査関係、審査支払関係、医療DX・オンライン資格確認関連事項について

本県からは椿副会長以下４人で会議に参加した

説明があった。令和４年度、概算医療費年度集計結果では、令和４年度までの１日当たりの医療費の伸び率は、新型コロナウイルス感染症が蔓延する前の状態に戻っていないことが示された。日歯の令和６年度診療報酬改定の基本方針では、15項目の方針を出し、それぞれに具体的な要望項目を作成している。

続いて、協議があり、⑴令和５年度各県社保関係事業計画及び予算について、⑵各県協議題について、18題の協議題を議論、⑶日歯への要望及び質問について、18題について日歯へ提出を行い、大杉日歯常務理事より、説明があった。田中長崎県歯専務理事の閉会の挨拶で終了となった。今回の会議の内容を本県社会保険委員会の活動に有効に活用できるようにし、会員の先生方へ今まで以上に役立つ委員会活動を行っていきたいと思う。

（桐野 美孝）

学院だより

くまもとお仕事探検フェア2023に参加いたしました

12月12日（火）午前10時から、熊本県雇用環境整備協会主催の「くまもとお仕事探検フェア2023」が開催されました。

このイベントは、熊本県内の高校生を対象とし、グランメッセ熊本で「医療・福祉」や「ものづくり」「IT・情報」など9つの分野にわたる企業や専門学校など84のブースが設けられ、それぞれの仕事の一部や最新の技術を体験できるものでした。会場には県内38の高校などから生徒や教員、約4500人が訪れ、進路として興味のあるブースを見て回り、担当者から話を聞いていました。

その中で、熊本県歯科医師会と熊本歯科衛生士専門学院が歯科衛生士確保対策事業の一環で、共同で参加し、歯科衛生士・歯科技工士のお仕事案内や体験ができるブースを設け、約300人の参加がありました。

歯科衛生士の体験コーナーでは、ファントムを使用した歯面研磨を行い、参加した高校生からは自分のやりたいことや、どのような仕事に向いているのかを知る機会が少ないとの声がある中、今回のイベントを通じて歯科衛生士・歯科技工士の仕事について理解できたとの嬉しい言葉が寄せられました。教員の先生方からも歯科衛生士の仕事の重要性について知る機会が得られたとの声がありました。

また、県の白石教育長も歯科衛生士のコーナーを訪れ、高校生たちが体験している様子をご覧になり、歯科衛生士の仕事の内容についてご質問をいただきました。

今後もこのような活動を通して、歯科衛生士の仕事に関する理解を深めていく機会を提供し、職業周知に力を入れていきたいと思います。

（学院　紫藤 美香）

歯科衛生士・歯科技工士のブースには約300人の参加があった

ファントムを使用しての歯面研磨体験

熊本市歯科医師会

『歯周病の検査、診断、治療計画』

― 令和５年度第２回歯周病対策プロジェクトセミナー ―

講師　東歯科医院院長　東　克章　先生

10月５日（木）19時30分より、県歯会館４Ｆホールにて標記セミナーが開催された。

山口理事の司会のもと熊本市歯会小野副会長の挨拶後、東克章先生のセミナーが開始された。スウェーデンのイエテボリ大学では1969年以来歯周治療を行う際には１歯単位の診断を行い治療計画の立案に活用している。今回の東先生のセミナーではその診断の仕方を教えていただいた。

＝１歯単位の診査とは＝

①歯肉に対してプロービング；プロービング時の出血（BOP）の検出

②歯根膜セメント質に対してプロービングデプス、アタッチメントレベル、歯の動揺度、根分岐部病変の診査

③歯槽骨に対して歯の動揺度、分岐部病変の診査、Ｘ線診査；水平的な骨の吸収度（骨の高さが１／３未満か）、骨の形態不正（楔状骨欠損や根分岐部病変）

を行うことである。我々が日常の歯周治療で注目すべきポイントは、“BOP”であり、出血があるということは治療がまだ行き届いていないということであり、患者には、「難しいんですよね、でもこうやってブラッシングしましょう」と指導・お話する必要があり、BOPの部位が悪いところなのである。

では、歯槽骨はどのように診査すればよいのか？歯根膜があれば骨は再生するので、３壁性の骨吸収の方が治癒・再生しやすい。骨の欠損状態をしっかりと把握し、説明し、縁下歯石の除去、歯周ポケット内の消炎、そして必要があれば歯周外科、再生療法と治療を進めていくことになる。

最後に、１歯毎の診断をしたら３つに分類し、治療方針を決めることになる。

多数の参加があり大盛況であった

①どの歯を残すか？　②どの歯を抜歯するか？③経過観察の歯（歯周基本治療後に①か②に振り分ける）その際の考え方として、審美的に重要な歯はどれか？歯列内排列上重要な歯はどれか？咬合支持上重要な歯はどれか？　などを考えながら、大まかな補綴計画を立案することになる。（歯周治療患者の補綴マージンは歯肉縁上にしないと、縁下でカリエスになってしまう）患者は歯科医師と会話をしたいと思っているから、どんなに忙しくても治療時には必ず１回は患者のもとに行き、口腔内を診察し、「どうですか？」、「頑張っていますか？」と声をかけること。患者はその一言が欲しい。そういったソフトの面も大切である。

会場から、初診患者の歯石除去は、プラークコントロールの邪魔になる歯石は除去してもよいか？との質問があり、その程度の歯石除去はやって下さい、との答えだった。

熊本市歯会田中副会長に閉会の辞をいただき、講演会は終了した。（参加110人以上の大盛況なセミナーとなった）

（学術　吉武 義泰）

玉名郡市歯科医師会

“病診連携を進めよう！”

― 臨時総会 ―

12月９日（土）午後３時より玉名市民会館会議棟において、標記会が開催された。開会の後、大林会長より「コロナのために中断していた事業が再開して、県、郡市共に多忙になってきている。また荒尾の有明医療センターも開院したが、くまもと県北病院、熊大病院とうまく連携協力してほしい」との挨拶があった。

高﨑議長が選出され、会務、代議員会、評議員会、会長専務会の各報告は各医院に送られてくる理事会報告でその都度詳しくなされているので、追加報告のみとされ、会員の工藤紘喜先生叙勲について報告があった。（工藤紘喜先生は翌12月10日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。）

議事では、令和４年度の一般会計、共済互助会、歯科医師連盟の決算報告の後、監査報告があり、承認された。

協議事項として①玉名郡市歯会会則の特別会員に関する項目が時代にそぐわないものになっているとの提案が執行部よりあった。会場からも複数の意見が出されたが、変更することに関しては承諾が得られたので、他郡市の例も参考にして、内容は執行部に検討をお願いすることになった。その他として①次年度より会費の口

協議では活発な意見交換がなされた

座振替の手数料について説明があり、収納代行サービスを利用することになった事が報告された。②会の業務手続において返信がない場合は自動的に欠席扱いになり、執行部からの確認の連絡は原則として行わないことになった。③有明医療センターが開院したが、くまもと県北病院とうまく共存していくために、連携協力していくことを再確認した。④１才８か月児健診、３才６か月児健診においてクレーム事例が報告された。基本的な事項を再確認し各会員に徹底するよう要請があった。⑤国会における山田議員、比嘉議員の現在の活動に関して質問があり、執行部より説明があった。

（小林 泰子）

郡市会報告

山鹿市歯科医師会

サガン鳥栖最終戦観戦

― 歯科医師会移動例会 ―

山鹿市歯会河原会長の御子息であるサガン鳥栖（J1）河原創選手の応援をかねて、コロナ禍で中止していた山鹿市歯会移動例会を久しぶりに開催した。朝10時に集合しマイクロバスに８人の会員が乗り込み出発。会長挨拶では、三師会と山鹿市民医療センターとの合同忘年会と山鹿市歯会新年会への出席要請があり、各理事からの報告もあった。鳥栖の庭園レストラン「花やしき」でランチをとり駅前スタジアムに到着、試合観戦となった。対戦相手は川崎フロンターレ、お互い得点の形がとれず、後半42分川崎のコーナーキックからのゴール前の混戦でオウンゴールとなり敗戦となった。

帰りのバスで橋本会員（山鹿市歯会サッカー評論家）から、お互い似たもの同士のチームだったのでこのような結果になったとの講評があり、17時30分には山鹿に到着解散となった。

満席のＪリーグ席に山鹿から河原選手の応援団

従来、宿泊で懇親会を開催していた移動例会であったが試合開始時間やまだまだコロナの影響もあり縮小しての開催となった。サッカー観戦を初めてされた先生もいい経験になったと喜ばれた。

（宮坂 圭太）

お知らせ

令和５年度第２回臨時代議員会 開催のお知らせ

下記の通り令和５年度第２回臨時代議員会を開催しますのでお知らせいたします。

記

日時：令和６年３月23日（土）午後３時30分～
会場：熊本県歯科医師会館４階ホール

［議　事］
第１号議案　令和５年度熊本県歯科医師会会計収支補正予算書（案）の承認を求める件
第２号議案　令和６年度熊本県歯科医師会事業計画（案）の承認を求める件
第３号議案　令和６年度熊本県歯科医師会会費及び負担金の賦課額、賦課率並びにその徴収方法（案）の承認を求める件
第４号議案　令和６年度熊本県歯科医師会会計収支予算書（案）の承認を求める件
第５号議案　退会会員の会費及び負担金等の未納金欠損処分の承認を求める件

［協　議］
１　時局対策について
２　その他

※代議員会は公開となっています。傍聴を希望される場合は、事務局に必ずご連絡のうえ、ご来場下さい。

リレー投稿 86

3776メートル まいとし富士山

天草市　内﨑歯科医院　内﨑 祐一

熊本の会員で一番の二枚目（と私は思っている）阿蘇の佐藤俊一郎会員からバトンを受け取りました。天草市河浦町にて開業31年目の62歳、内﨑です。

さて私事ですが、私は2018年に初めて富士山に登りましたが、それからはコロナで山開きがなかった2020年、2021年を除き、毎年富士山に登っております。

「富士山に一度も登らないバカに二度登るバカ」とは地元静岡で聞いた話ですが、これは言葉通り一度は必ず登れということですが、大変なのだから再度登るのはバカという意味です。が、何故毎年登っているのかというと、一度目の富士登山が、楽しくて、とても良くて、また登りたいと思ったからです。後で具体的に理由を述べます。

さて最初の富士登山が2018年と書きましたが、当時50代後半での富士登山を考えたのにはきっかけがあります。私にはその十数年前から富士山頂郵便局から暑中見舞い写真はがきを送ってくれる大学の後輩（藤江康忠先生：福岡県遠賀郡開業）がおります。富士山頂郵便局とは富士山が山開きしている期間（７月～９月）だけ富士山頂の火口縁で営業している郵便局です。

消印に富士山頂の文字とイラストが入った大きな消印で、丁寧に押印された暑中見舞いが届いていました。（今は私もここから毎年百枚近いハガキを出しています）

私としては、日本人なら一度は富士山の頂上3776メートル地点に立たないといけないな」と思っていましたが、そういう時に、「一緒に登らんね」の誘いの言葉があり、すぐにそれに乗ったわけです。

2018年３月に藤江先生から予定の概要が示され、それは７月の海の日の連休を利用しての富士登山の計画でした。

普通の旅行計画と違い、富士登山はその準備として体調体力と装備が必要であります。必要な装備を購入した後、登るための体力アップのためにタイムを測定しながらの夜のウォーキングを行いました。これは現在も続けています。

赤岩八号館3300mにてご来光をつかむ

富士山剣ヶ峰　向かって左が私、右が北九州市若松開業の吉武俊明先生

初めて登った時のメンバーは５人で、私以外は皆北九州地域の歯科医師でした。

登山当日は天候に恵まれ初日には眼下の雲の上に珍しい影富士を見ることができ、八合目山小屋宿泊の翌朝には素晴らしいご来光にも恵まれ、快晴のもと富士山最高峰の剣ヶ峰に立つことができました。この非日常をまた味わいたいと思いながら、翌年以降も登り続けています。ただ毎回が楽しい登山とは限らず、翌2019年は夜中に登山中に雨と強風で3000ｍの山小屋に避難しそこで撤退、危うく遭難という状況でした。その時は低体温を起こしたメンバーもおり、その時のことを「死ぬかもしれないと思った」と述べています。

近年半袖短パンの軽装登山の人もいますが上記の気象状況だったら多分死ぬと思います。（さすがに悪天候の夜に半袖短パンの人はいませんけど）

ところで富士山の登山ルートは富士吉田、須走、御殿場、富士宮の４ルートがあり、そしてその下山ルートは一部登山ルートとは異なる所もあります。昨年の登山では富士スバルライン５合目より吉田ルートで登頂し、御殿場ルートで下山しました。このように選択肢が多く、全てを踏破することは簡単ではなく、飽きもきません。

十分な準備をして後は当日の天候を祈るのが富士登山で、どうなるか分からないことに心配しながらも今年もワクワクしています。

次はあちこちの海でダイビングを楽しむ同じ天草郡市の青砥圭吾会員にバトンタッチします。

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることを教えてください。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものだとお考えですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

第１種会員

長　茉利奈
（チョウ　マリナ）

熊本市北区楠6-1-37

くすのきハロー歯科

①地域それぞれのニーズに合わせた歯科医院の在り方
②患者さんとしっかりコミュニケーションをとり、納得して頂いたうえでの診療
③アットホームさ
④より噛みやすい義歯を作れるようになる！

第２種会員

中村　万智
（ナカムラ　マチ）

菊池市旭志小原305-3

中村歯科医院

①歯肉縁下カリエスの歯の治療について。「何とか残してほしい。抜きたくない。」という患者さんに対して、何とか残してみるなら、どうしてあげるのがベストなのか。
②医師側が提供した情報（考えられる原因、治療法、それぞれの治療法のメリット、デメリット、リスク等）と患者さんが望むものをお互いに共有しラポールを築いた上で行う診療。
③待合室が、患者さん、地域の方々のおしゃべり場所になっています。アットホームです。
④患者さんの望む治療にこたえられるよう、知識と技術をより身につけていきたいです。

会　務　報　告

自　令和５年11月24日
至　令和５年12月21日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	11月24日	第４回災害時歯科保健医療供給体制検討会 （１）災害歯科保健医療研修強化事業意見交換会 （２）災害歯科保健医療研修強化事業研修会（３）その他	永松副会長、牛島専務理事、宇治常務理事、椿理事
	25日	県理学療法士協会設立五十周年記念式典・祝賀会（熊本ホテルキャッスル）	大林副会長
	26日	支払基金審査委員懇談会（熊本市）	伊藤会長
	27日	【Web】熊本県健康づくり推進課市町村乳幼児歯科健診歯科医師及び従事者等研修会 県口腔保健支援センター出務	牛島専務理事、宇治常務理事、髙水間理事
		県地域医療構想調整会議（県防災センター）	伊藤会長
		第４回熊本県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会	椿副会長
	28日	県知事表敬訪問（県庁）	伊藤会長、牛島専務理事、岡﨑事務局長
		第182回九州地方社会保険医療協議会熊本部会（第二合同庁舎）	椿副会長
		第７回理事会 【承認事項】 （１）新入会員の承認（２）第４種会員代表歯科医変更 （３）関係機関・団体から役員等の推薦依頼（４）講師派遣依頼 【議　　題】 （１）関係機関・団体への会費等の納入 （２）第38回中規模県歯科医師会連合会出席者及び協議題 （３）第２回九州各県歯科医師会専務理事会提出協議題 （４）令和５年度第２回臨時代議員会手続きスケジュール （５）ニューレジリエンスフォーラムへの賛同（６）学会、研修会への役職員参加 （７）令和５年度熊本県補助・委託事業に係る予算（案） （８）退会会員の会費及び負担金等の未納金欠損処分の承認を求める件 （９）口腔保健センター複合機見積書 (10) 学院Wi-Fiの仕様変更、それに伴うルーターの更新（11）事業計画書 【協議事項】 （１）九州地区連合歯科医師会の組織、事業、機能等の見直しについてのアンケート	伊藤会長他全役員
	29日	月次監査　10月末会計現況監査	増田・水上監事
	30日	第８回日歯理事会（日歯会館）	伊藤会長
		岐阜県災害歯科保健医療研修会（岐阜県歯会館）	牛島専務理事
	12月１日	都道府県事務長事務連絡会（日歯会館）	岡﨑事務局長
	２日	くま歯キャラバン隊（八代歯科医師会口腔保健センター） 参加者：19人　テーマ：院内感染予防ポイント	豊田理事
		女性歯科医師の会 第２回講演会・懇談会　講師：森久美子先生　参加者：18人	伊藤会長、町田理事、神﨑理事
	３日	第66回熊本県三師会剣道大会懇親会（熊本市）	伊藤会長
	５日	第10回常務理事会 （１）新入会員（２）関係機関・団体から役員等の推薦依頼（３）後援依頼 （４）令和５年度第２回各郡市歯科医師会会長・専務理事連絡会議次第 （５）日赤健康管理センターにおける新歯周病リスク検査への協力 （６）各郡市における学校歯科校医担当者の情報提供依頼 （７）令和６年度後期高齢者口腔健康診査（８）日本医師会雑誌定期購読継続	伊藤会長他常務理事以上全役員
	７日	第12回日歯常務理事会（日歯会館）	伊藤会長
	８日	賞与授与式	伊藤会長、牛島専務理事
	９日	鹿児島大学歯学部同窓会熊本県支部忘年会（熊本市）	椿副会長
		九州歯科大学熊本県同窓会忘年会（熊本市）	牛島専務理事
	13日	【Web】支払基金審査運営協議会（日歯会館）	伊藤会長
		第５回災害時歯科保健医療供給体制検討会 （１）災害歯科保健医療研修強化事業意見交換会 （２）災害歯科保健医療研修強化事業研修会（３）その他	永松副会長、牛島専務理事、宇治常務理事、椿理事
	14日	第13回日歯常務理事会（日歯会館）	伊藤会長
		月次監査　11月末会計現況監査	増田・水上監事
	15日	県口腔保健支援センター出務（県庁）	髙水間理事
		令和５年度県社会福祉審議会（熊本県防災センター）	椿副会長
		くま歯キャラバン隊（八代歯科医師会口腔保健センター） 参加者：20人　テーマ：医事紛争の実情と実例、医事紛争発生から解決までの流れ	椿理事

所管	日付	摘要	出務者
総　務	19日	県口腔保健支援センター出務（県庁）	宇治常務理事
		第11回常務理事会 （1）後援・共催依頼（2）令和６年度県歯終身会員、代議員会表彰者リスト等 （3）令和６年度総務事業計画（案）（4）令和６年度各委員会事業計画（案） （5）令和６年度各委員会予算（案）（6）令和５年度第２回臨時代議員会日程（案） （7）令和６年度事業計画（案） （8）令和６年度会費及び負担金の賦課額・賦課率並びに徴収方法（案） （9）電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定 （10）ケイ・デー・エム・ユー業務委託料 （11）第２回九地連協議会出席者及び提出協議題	伊藤会長他常務理事以上全役員
	20日	令和５年（2023年度）第２回熊本県感染症対策連携協議会（県庁）	岡﨑事務局長
		全国歯科保健大会会場確認（熊本城ホール）	大林副会長、牛島専務理事、宇治・馬場常務理事、工藤・神﨑・髙水間理事
	21日	県口腔保健支援センター出務（県庁）	牛島専務理事
		第９回日歯理事会（日歯会館）	伊藤会長
		県健康福祉政策課医療計画打合せ（県庁）	牛島専務理事、岡﨑事務局長
学　術	11月26日	歯周病対策プロジェクトセミナー会員発表 講師Ⅰ小堀聖子 演題Ⅰ「歯周外科を伴った中等度歯周炎治療から学んだこと」 講師Ⅱ田中雄大 演題Ⅱ「当院における歯周病患者への対応～診査・診断の重要性」 講師Ⅲ関　喜英 演題Ⅲ「広汎型重度侵襲性歯周炎患者に対し、歯周組織再生療法を行い良好にしている症例」 講師Ⅳ東　克章 演題Ⅳ「45年に及ぶ歯周病治療の臨床から考える歯を残すことの意義について」 受講者：会場28人　オンライン40人　合計68人	伊藤会長、馬場常務理事他全委員（添島委員を除く）※片山泰紀委員は午前中のみ
	12月11日	学術委員会 （1）１/14ＤＨ会共催講演会（2）３/31熊本県歯科医学大会 （3）歯周病対策プロジェクト会員発表（4）メーカー共催講演会	豊田理事、内野委員長他全委員
社会保険	11月25日	社会保険委員会 （1）会員向け発行物（2）指導立会者、個別相談対応 （3）歯初診研修会・口腔機能低下症講習会（4）報告事項と今後の日程	椿副会長、舩津・野田理事、桐野委員長他13委員
	12月13日	日歯社会保険委員会（日歯会館）	椿副会長
	14日	保険個別指導（熊本第二合同庁舎）	清藤委員
地域保健学校歯科	11月26日	第１回がん医科歯科連携登録医のための全国共通がん医科歯科連携講習会 受講者：９人	髙水間理事、野田理事他２人
	30日	【Web】地域保健学校歯科小委員会（各診療所） 【Webex】（1）はいしゃさんキッザニア	髙水間理事、郷原委員長
	12月４日	【Web】地域保健学校歯科委員会 【Webex】（1）はいしゃさんキッザニア（2）がん医科歯科連携運営協議会	髙水間理事、郷原委員長他全委員
	７日	第１回がん医科歯科連携運営協議会 （1）次年度以降の事業内容と目標（2）次年度研修会（3）次回運営協議会	大林副会長、牛島専務理事、髙水間理事他９人
	８日	「児童生徒の心と体の健康づくり推進事業」推進委員会 第３回報告書作成委員会（県防災センター）	大林副会長
	11日	生活歯援プログラム歯科健診（西田鉄工㈱）	歯科衛生士２人
		フッ化物洗口に関するワーキング委員会　県健康づくり推進課・県体育保健課との打合せ	大林副会長、牛島専務理事、髙水間理事、郷原委員長、福田副委員長、岡村・上野委員
	14日	笑顔ヘルＣキャンペーン反省会　県歯科衛生士会、熊日との反省会	大林副会長、髙水間理事他５人
	15日	地域保健学校歯科委員会 （1）次年度歯の祭典（2）はいしゃさんキッザニア	髙水間理事、郷原委員長他７委員
	21日	県PTA共済審査委員会（県総合福祉センター）	牛島専務理事
地域包括ケア	11月25日	【Web】在宅歯科医療連携各郡市意見交換会 （1）モデル地域報告（2）各郡市の在宅歯科診療（3）意見交換	牛島専務理事、長野常務理事、町田理事他３人
	29日	【Web】熊本県歯科医師会・熊本県介護支援専門員協会合同企画研修会打合せ （1）研修会内容確認（2）委員担当振り分け（3）在宅歯科医療研修会	長野常務理事、町田理事他４人
	30日	令和５年度熊本県在宅医療連携体制検討協議会（県庁防災センター）	長野常務理事
	12月７日	モデル地域（荒尾市）と打合せ（荒尾市歯科医師会事務局） （1）介護食メニュー（2）会場視察（3）後援会経費	荒尾市歯会田中会長他２人
		地域包括ケア委託事業打合せ	町田理事
	９日	熊本県歯科医師会・熊本県介護支援専門員協会合同企画研修会 講師：熊本県介護支援専門員協会 会長 権藤 重賢先生　受講者：43人	永松副会長、長野常務理事、町田理事他５人
	11日	【Web】地域包括ケア小委員会（各診療所） （1）令和５年度厚生労働省委託事業 在宅医療関連調査・講師人材養成事業	長野常務理事、町田理事、赤尾委員長、園田副委員長、匠原委員
	16日	【Web】在宅歯科医療研修会 受講者：75人　講師：日本歯科大学多摩クリニック院長 菊谷 武 先生・戸原 雄 先生	牛島専務理事、長野常務理事、町田理事他４人
	17日	在宅歯科医療研修会 受講者：35人　講師：日本歯科大学多摩クリニック院長 菊谷 武 先生・戸原 雄 先生	長野常務理事、町田理事他４人
	18日	モデル地域研修会（荒尾市）打合せ（荒尾市保健センター） （1）介護食試作（2）材料費（3）食材保管	荒尾市歯会田中会長、同田中理事

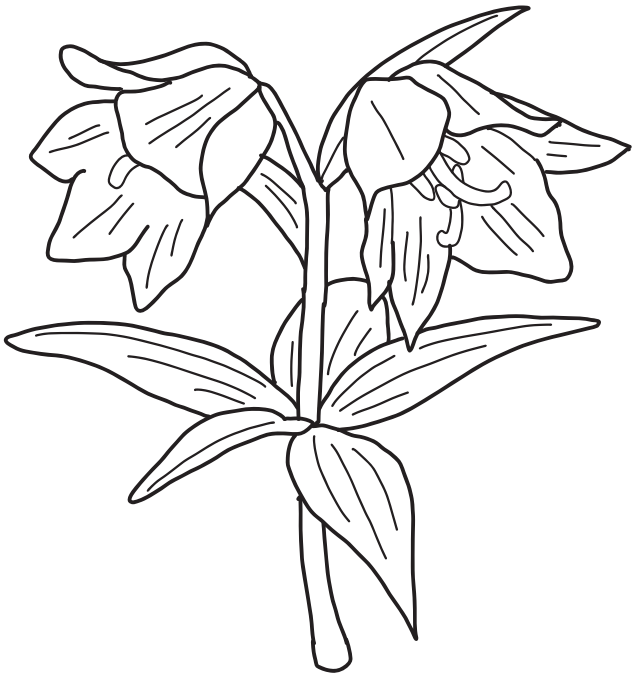
所管	日付	摘要	出務者
広　報	12月７日	県政情報番組打合せ（県庁）　県医療政策課、県広報課との打合せ	神﨑理事、岡﨑事務局長
		【Web】広報委員会 （１）会報１月号１校目校正	【会館】神﨑理事、月精委員長、秋山副委員長、井上委員【Web】他全委員
	８日	「Beauty × Teeth コンテスト」表彰式	伊藤会長、大林副会長、牛島専務理事、馬場常務理事、神﨑・髙水間理事、秋山副学院長
	14日	【Web】広報委員会 （１）会報１月号２校目校正	【会館】神﨑理事、月精委員長、秋山副委員長、福嶋委員【Web】他全委員
医療対策	12月20日	医療対策小委員会 （１）医療相談	永松副会長、椿理事、五島委員
厚生・医療管理	12月11日	東京海上日動火災保険会社との面談	宇治常務理事
	11日	【Web】第１回学生支援検討委員会（県歯会館、各診療所） （１）学生支援検討委員会（２）令和４年度本学院学生支援の取り組み （３）日本学生支援機構（４）教育訓練給付金 （５）母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業（６）金銭的支援策	【会館】宇治常務理事、正清教務部長【Web】永松副会長、舩津・工藤理事、球磨郡向江会長、玉名郡市國﨑理事
	12日	くまもとお仕事探検フェア（グランメッセ熊本） 参加者：高校生265人、教員・保護者24人	岡﨑事務局長他７人、熊本県歯科衛生士会１人、熊本県歯科技工士会３人
	14日	県後発医薬品安心使用・啓発協議会（熊本テルサ）	馬場常務理事
センター	11月28日	日本障害者歯科学会モデル事業担当者連絡会（口腔保健センター） （１）モデル事業研究の実施状況報告 （２）患者家族の声：全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会	我那覇副センター長、山川指導医
	30日	口腔保健センター部会 （１）保険集団的個別指導（２）症例検討、報告	椿センター長、我那覇副センター長、三笘診療部長、大坂訪問部長他協力歯科医師６人
	12月４日	センター定例ミーティング（口腔保健センター） （１）運営のあり方（２）DH面談・駐車場（３）論文掲載料 （４）オン資確認医療扶助対応（５）口腔ケア事業研修会（６）外国人歯科受診 （７）熊大大河内教授協力事業（８）県広報番組（９）レセプトチェック （10）患者件数等報告（11）熊本市との契約	椿センター長、我那覇副センター長、山室副センター長
	６日	センター DH面談（口腔保健センター）	椿センター長
学　院	11月28日	第７回理事会	東学院長
	29日	学院役職員会 （１）行事及び諸会議（２）会計現況（３）夢の道しるべ講演会 （４）自衛隊隊内生活体験反省会（５）新規臨地実習施設 （６）令和６年度学院事業計画・予算（案）（７）次年度作成料・採点料の見直し （８）入学試験の面接時の質問事項（９）仮進級（10）カリキュラム改変（案） （11）役員、講師の日当・旅費支払い（12）日本財団による自動販売機の設置 （13）国試対策での模擬試験複製の活用（14）新規臨床実習施設（15）Moodle研修会（案）	東学院長、秋山・弘中副学院長、正清教務部長
	12月４日	学院運営審議会 （１）行事及び諸会議 （２）令和５年度歯科衛生士の育成事業収支計算書、運用基金会計現況 （３）令和６年度事業計画・予算（案）（４）入学試験問題作成料・採点料 （５）Wi-Fi改修工事	伊藤会長、椿・大林・永松副会長、牛島専務理事、宇治常務理事、東学院長、秋山・弘中副学院長、正清教務部長
	６日	職員面談（学院）	牛島専務理事
	７日	職員面談（学院）	牛島専務理事
	21日	第３回教務委員会 （１）行事及び諸会議（２）学生現況（３）３年生全国模擬試験結果 （４）令和６年度歯科衛生士国家試験対策課外計画 （５）３年間の国家試験対策及び直前国家試験対策 （６）令和５年度夢の道しるべ補助金事業特別講演会 （７）令和７年度カリキュラム改変案（８）新規臨床実習施設依託依頼 （９）新規臨地実習（社会福祉）施設依託依頼（10）令和６年度非常勤講師 （11）令和６年度臨地臨床実習組み分け（案） （12）令和６年度後期試験「総合歯科学」の出題数案	東学院長、秋山・弘中副学院長、正清教務部長、井上・緒方・神山・八木委員
国保組合	12月１日	全協九州支部事務研修会（鹿児島市）	田代課長、有村書記

令和６年能登半島地震への義援金のお願い

ご承知の通り、深刻な被害をもたらした今回の能登半島地震により、石川県を中心として多くの被災者の方々が支援を必要とされています。

このような状況を受け、日本歯科医師会から都道府県歯科医師会に対して、被災者の方々への義援金による支援依頼がありました。このため本会も会員の先生方の義援金を取りまとめ、日歯へ送金することとしました。

会員の先生方には本趣旨をご理解のうえ、何卒ご協力をお願い申し上げます。（募金方法は、先日FAXにてお知らせした申込用紙にてお申込みください。）



其の1

会員専用グループ保険制度のご案内

保険料がさらに
お安くなりました

配偶者も1000万円
まで加入OK

◎令和５年８月より
最高「5000万円」の
保障が無診査で加入OK
80才まで継続可能になります！

１年更新で配当金は
毎年加入者へ還元
（2022年の還元率54%）

グループ保険は歯科医師会が契約者で
保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。

引受保険会社 幹事 メットライフ生命

其の2

既に下記の保険会社でご加入の会員様も
保険料納付は団体収納扱いでお願いします！

下記保険会社と団体収納契約をしている為、会費明細引きがご利用可能。

個人加入の保険料が団体割引でお安くなり、保険内容に何も影響ありません。

手続きは簡単、事務局が代行します。ぜひ便利でお得な制度をご活用ください。

朝日生命　アフラック生命　住友生命　SOMPOひまわり生命
第一生命　日本生命　明治安田生命　メットライフ生命

[県歯事務局 事業課　TEL：096-343-8020]

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
February 2024 No.812

笑顔ヘルC 8020運動からはじめる

3 主な行事予定 March

2日(土)	国保通常組合会
5日(火)	第16回常務理事会
11日(月)	障がい児（者）口腔ケア事業研修会
12日(火)	第11回理事会
17日(日)	口腔保健センター登録歯科医制度研修会
19日(火)	第17回常務理事会
23日(土)	第２回臨時代議員会
31日(日)	熊本県歯科医学大会

熊本県ご当地よ坊さん

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

県内大学生が若者への
オーラルケアの情報を発信しています！

Instagram

いい笑顔は BEAUTY× TEETH オーラルケアから

熊本県歯科医師会公認の
オーラルケアサポートアカウント

Instagram

熊本歯科衛生士専門学院は
Instagram でも情報発信中！
ぜひご覧ください

編集者のつぶやき

箱根駅伝2024、記念すべき100回大会、史上初の２シーズン連続の大学駅伝３冠を目指していた駒澤大学を破り、大会新記録で総合優勝を果たした青山学院大学。今年も熱い戦いが繰り広げられる展開で盛り上がり、その光景を見ることで（テレビですが笑）今年も１年頑張ろうと気を引き締める思いとなりました。

能登半島地震からまもなく１ヶ月経とうとしてます。今度は熊本が地震の被害を受けた各地域にお返しする番かと思います。小さいことでもいいので出来ることをやっていけたらと思います。　(F.R)

■発行日／2024年２月５日発行　■発行人／伊藤　明彦
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020　FAX／096-343-0623
URL／https://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷